

備北地区の「ひと」と「まち」を守り、防災の要となる消防庁舎を実現します。



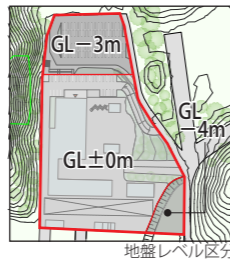
まとまったスペースを確保した配置イメージ

1 「防災拠点としての配置計画及び動線計画」 消防機能を最大限発揮できる配置計画とします。

■造成を行わないコンパクトで機能的な配置計画

敷地の高低差（3～4m）を利用した合理的、機能的な配置計画により、切土や盛土等造成工事が不要な計画とします。開発許可申請に要する期間の短縮や開発造成費を大幅に削減します。

- ・±0地盤に全施設をコンパクトかつ機能的に配置し、北側の-3m地盤は職員用駐車場とします。
- ・緊急車両動線と明確に分離した来庁者専用のスロープ車路を設置します。
- ・敷地東側の既存緑地を可能な限り残し、景観に配慮するとともに地域に長く親しまれた原風景・土地の記憶を継承します。



■緊急車両が安全かつ確実に、1秒でも早く出動するための動線計画

緊急車両がいついかなる時も迅速に出動できることが最優先と考えます。出動の妨げとなる要素を排し、大型車両がストレスなく出動できる計画とします。

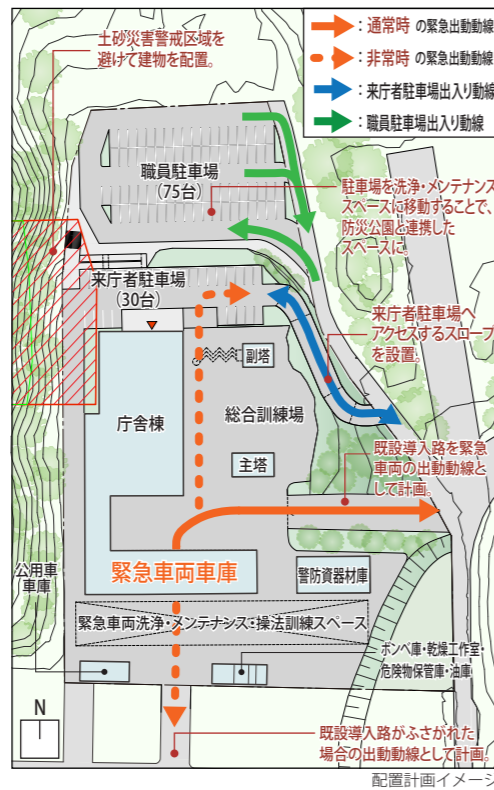
- ・中原踏切方向へ直進が可能で、緊急時に余裕を持って走行できる既設導入路（幅員9m）を緊急車両の出動動線とします。
- ・緊急車両との交錯を回避するため、来庁者・職員用駐車場へのアクセスは既設導入路とは別ルートとします。
- ・緊急車両が車庫から右回り1回で迅速に出動可能な施設計画とします。
- ・既設導入路が事故や渋滞等でふさがれた場合を考慮し、来庁者駐車場を経由して出動するルートを確認します。
- ・また南側林業技術センターの中央道路からの出動も行える出入口を設置します。

■敷地の有効利用

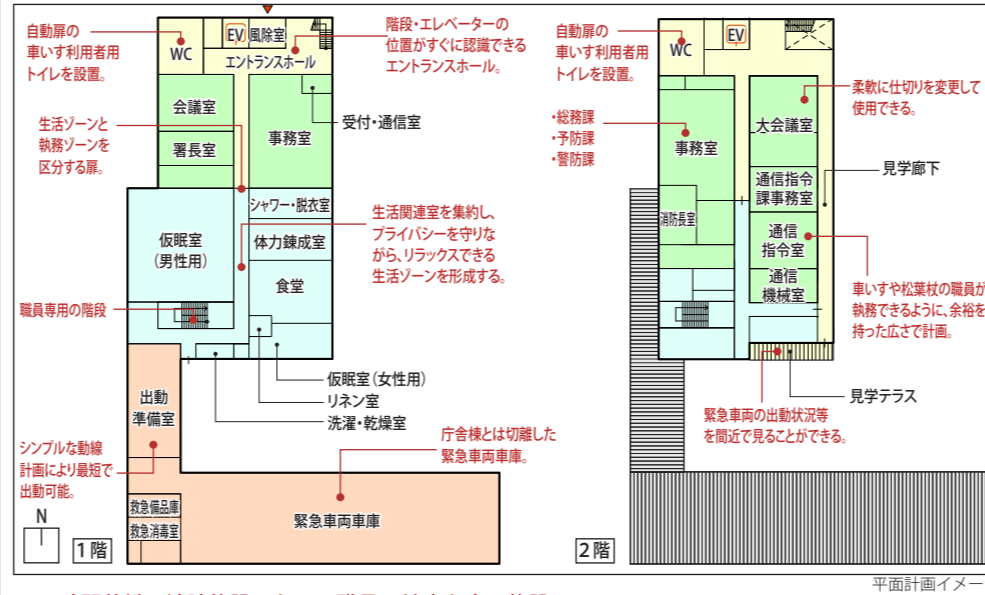
- ・建物配置の工夫によりまとまったスペースを確保し、訓練やメンテナンスのスペースとして活用します。
- ・庁舎棟東側に確保したスペースは総合訓練場とし、訓練棟も配置します。
- ・緊急車両車庫南側は、緊急車両の洗浄・メンテナンススペースとしますが、操法訓練も可能な大きさを確保しています。
- ・訓練棟は±0地盤のできるだけ北側に配置し、将来整備予定の防災公園とのイベント連携に配慮します。

■状況に応じて機能を転換する敷地利用計画

- ・災害時の緊急消防援助隊等の待機場所など非日常的に必要なスペースを、通常使用しているスペースを機能転換することで活用し、敷地の有効利用を図ります。
- ・災害時には、総合訓練場や洗浄・メンテスペースは緊急消防援助隊の待機場所、支援物資の保管場所等に活用できます。
- ・職員用駐車場を車両洗浄・メンテスペースに移動することで、防災公園と連携したイベントスペースになります。

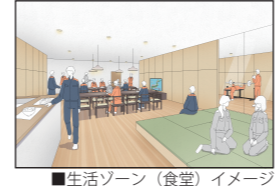


2 「消防業務の特殊性を考慮した執務環境、空間構造及び動線計画」 効率的かつ快適に執務を行える施設計画とします。



■24時間稼働の消防施設において職員の健康を守る施設

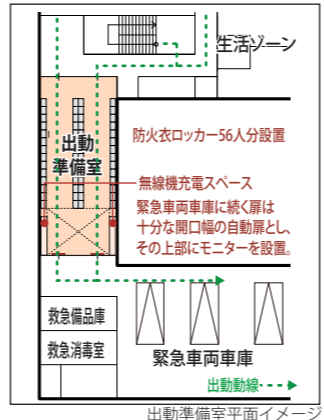
- ・庁舎に寝泊まりして業務にあたる職員にとって、仮眠室や食堂は家と同じ生活空間です。プライバシーが守られ、リラックスできる生活ゾーンをつくります。
- ・仮眠室、食堂などの生活関連室は生活ゾーンとして集約し、執務空間とは明確にエリア分けします。
- ・食堂は生活ゾーンのリビングルームとして、職員が自然と集まるオープンな空間とします。
- ・プライバシー確保のため仮眠スペースは壁で囲った個室とし、出入口には扉を設けます。個室間の通路幅を1.5mと広く確保することで迅速な出動にも対応します。
- ・仮眠室には生体リズムの調整に欠かせない日の出や天気分かる窓を設けます。
- ・仮眠スペース内に個人ロッカー2台を設置します。
- ・体力錬成も生活の一部ととらえ、生活ゾーンに配置します。



■緊急出動時の適格かつ迅速なコミュニケーション

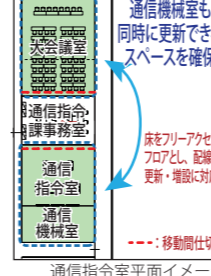
緊急出動において、どこにいても何をしても出動指令が行渡り、また一刻を争う中、正確に指令情報を伝えることが可能な施設とします。

- ・建物内はシンプルな動線計画により、最短で出動可能とします。
- ・庁舎棟から出動準備室を経て緊急車両車庫に至る動線は一方方向とし、迅速かつ円滑な出動を可能とします。
- ・出動準備室には着衣しながら指令情報を受理できるようモニターを設置し、また通信指令室と会話できる交信システムを構築します。



■将来の施設更新を容易にするフレキシビリティ ～通信指令室更新への対応～

- ・平面レイアウトの変更や通信設備の更新などが、大きな工事を伴わず、また消防機能を維持しつつ行える施設とします。
- ・事務室やサーバー室など通信配管が多い室は、床をフリーアクセスフロアとします。
- ・室内の間仕切壁はすべて、撤去新設が容易なボードによる乾式壁とします。
- ・EPSやPSなど配管スペースは余裕を持った計画とし、将来の増設に対応します。
- ・通信指令室は機器の更新時に機能を止めないため、予備室を設け、機器新設後古い機器を撤去する計画とします。
- ・通信指令室の更新においては通信機械室も同時に更新が必要です。更新のため予備室を大会議室とし、通信機械室も含めた予備スペースを確保します。

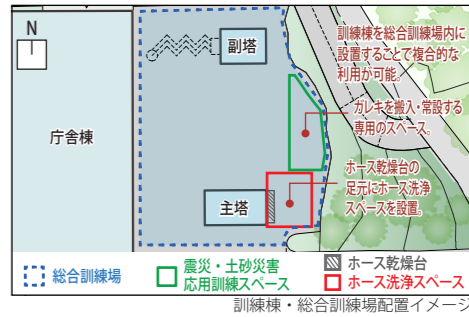


3 「消防力の維持・向上、住民の防災意識高揚が図れる庁舎」 訓練スペースの充実と開かれた庁舎の実現を図ります。

■さまざまな訓練を可能とする施設計画

消防訓練は規格が統一されたものと消防署毎に独自の方法のものがあります。弊社の豊富な消防関連施設の実績・知見を活かし、貴署と協同で最適な訓練棟、訓練場を計画します。

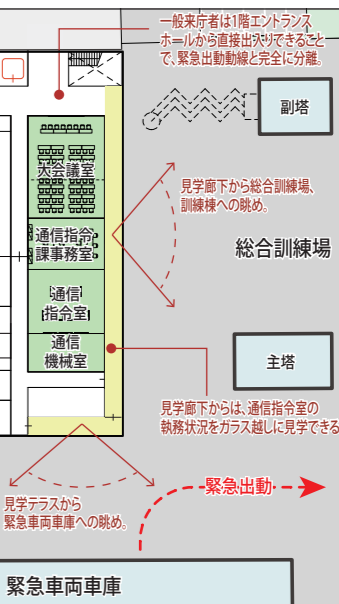
- ・庁舎棟東側に広い総合訓練場を確保し、さまざまな訓練が行える場とします。
- ・訓練棟は総合訓練場内に設置し、複合的な利用が可能です。
- ・訓練棟にはホース乾燥台と、足元にはホース洗浄スペースを設置します。
- ・震災・土砂災害応用訓練はガレキを搬入・常設するため、専用のスペースを確保します。
- ・防火水槽は雨水貯留を行い、水資源の有効利用を図ります。雨水が不足する場合は水道水により補います。



■消防活動を発信するための施設づくり

地域住民に消防活動を理解してもらい、防災への意識向上を促すため、講習会や訓練体験・見学を効果的かつ円滑に行える施設とします。

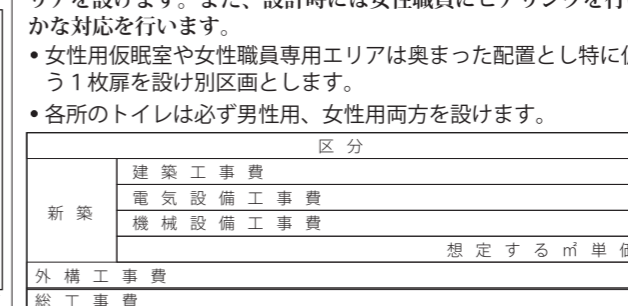
- ・庁舎棟と訓練棟・総合訓練場を対面して配置し、消防訓練を見渡せる計画とします。
- ・庁舎棟2階に大会議室兼研修室と通信指令室を直列配置し、見学廊下を併設することで、講習会参加者は屋外の訓練風景と通信指令室での執務状況を見学できます。
- ・見学廊下南端には見学テラスを設け、緊急車両車庫を眺めることができます。
- ・消火訓練や煙体験のため、総合訓練場へは1階エントランスホールから直接出入りできます。
- ・講習会参加者や一般来庁者は庁舎棟北側からアクセスする動線計画とし、緊急出動動線との交錯を回避します。



■多岐にわたる消防業務の効率化

消防・救助・救急の他、調査、指導、訓練、各種機材の整備、事務処理など、多岐にわたる消防業務を効率的に行える施設とします。

- ・警防資器材庫、乾燥室・工作室、車両関係資器材庫、空気充填室・ボンベ保管庫、危険物保管庫、油庫は緊急車両車庫近傍に配置します。
- ・ホース乾燥台を設置する訓練棟と緊急車両車庫は近接させます。
- ・出動準備室から緊急車両車庫への扉は十分な開口幅の自動扉とします。
- ・緊急車両車庫の開口部はスピーディなオーバースライダーとし、リモコンや通信指令室からの遠隔操作が可能です。
- ・緊急車両車庫は表裏両面開閉可能とし、暖気時の排ガス処理装置を不要とします。
- ・出動準備室は2面に換気窓を設けることで風が抜け、換気効率を高めます。



4 「誰もが使いやすく開かれた庁舎」 さまざまな利用者に配慮した施設づくりを行います。

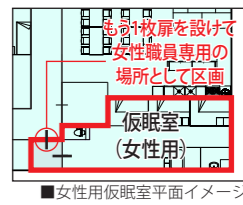
■ユニバーサルデザインの徹底

- ・バリアフリー法における最低基準ではなく誘導基準（望ましいレベル）に適合させた上で、法にはない部分においても使いやすさ、分かりやすさを徹底します。
- ・建物を案内、誘導するサインは文字を大きく、目に入りやすい配色とし、一般に認知されているピクトグラム（絵文字）を積極的に使用します。
- ・大きなガラス張りや玄関庇により分かりやすい出入口とします。
- ・車いす利用者トイレ扉は自動扉とします。
- ・シンプルな平面計画により、目的地が分かりやすい施設とします。
- ・防火水槽は雨水貯留を行い、水資源の有効利用を図ります。雨水が不足する場合は水道水により補います。
- ・通信指令室も車いすや松葉杖の職員が執務できるように、余裕を持った広さとします。



■女性職員が普通に勤務できる庁舎づくり

- ・少数派である女性職員が安心して気持ちよく執務できるために、必要なバリアを設けます。また、設計時には女性職員にヒアリングを行い、きめ細かな対応を行います。
- ・女性用仮眠室や女性職員専用エリアは奥まった配置とし特に仮眠室はもう1枚扉を設け別区分とします。
- ・各所のトイレは必ず男性用、女性用両方を設けます。



区分		概算工事費
新築	建築工事費	1,323,000千円
	電気設備工事費	228,000千円
	機械設備工事費	139,000千円
想定する㎡単価		455千円/㎡
外構工事費		104,000千円
総工事費		1,794,000千円